施工説明書

■埋込収納棚（紙巻器付）

TSF-211U

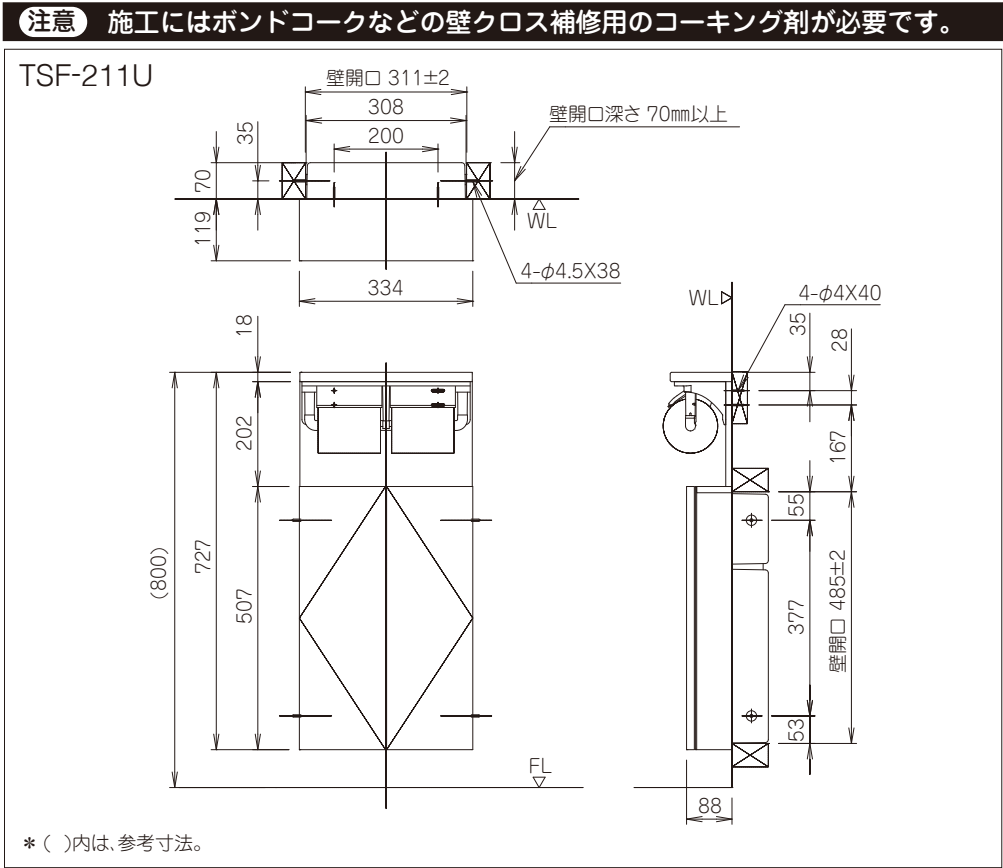
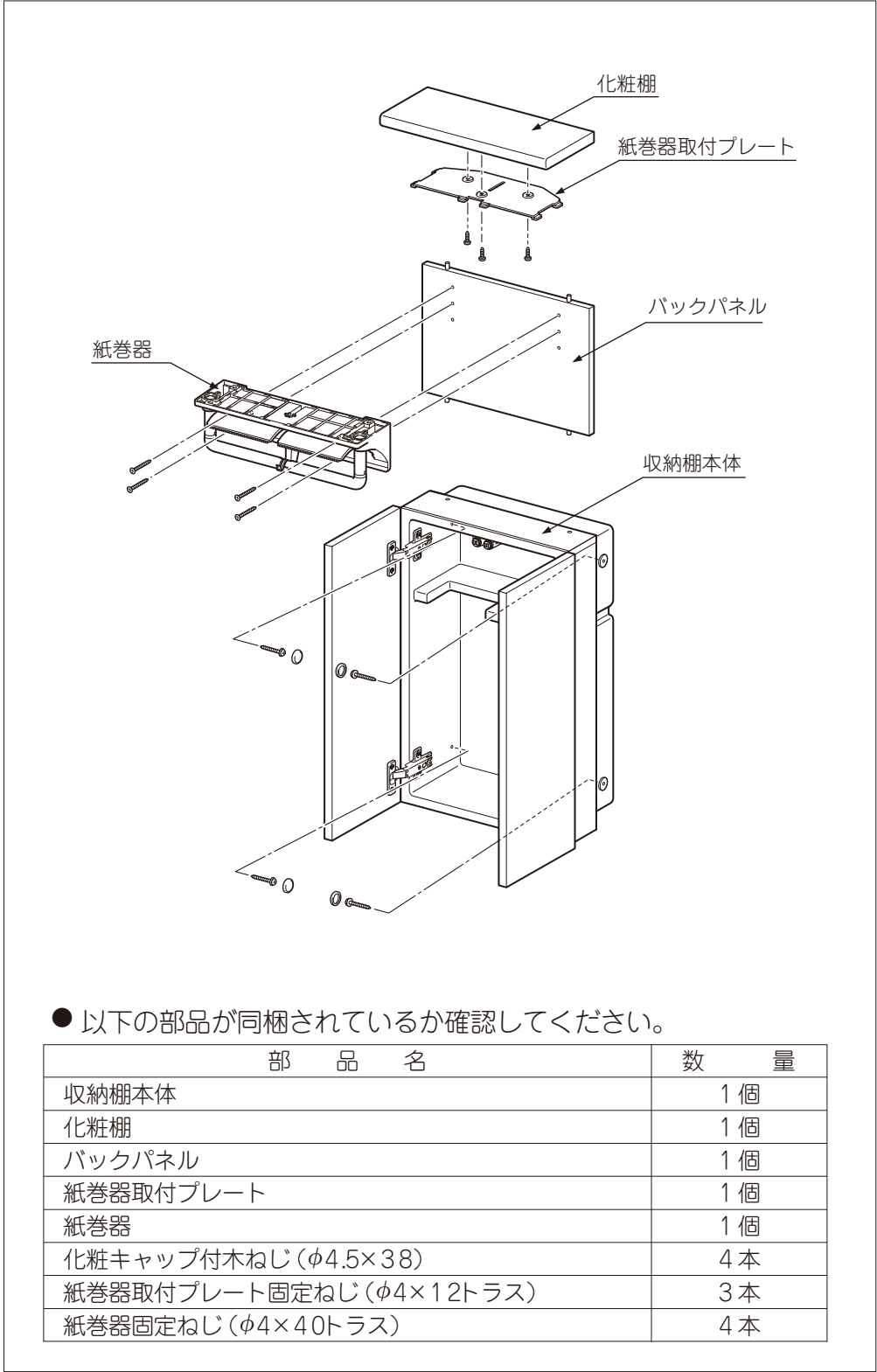
商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後は、お客さまにお渡しください。

●施工完了図

注意 施工にはボンドコークなどの壁クロス補修用のコーキング剤が必要です。

●各部の名称と部品の確認

● 以下の部品が同梱されているか確認してください。

部　品　名	数　量
収納棚本体	1個
化粧棚	1個
バックパネル	1個
紙巻器取付プレート	1個
紙巻器	1個
化粧キャップ付木ねじ（φ4.5×38）	4本
紙巻器取付プレート固定ねじ（φ4×12トラス）	3本
紙巻器固定ねじ（φ4×40トラス）	4本

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

……「注意しなさい！」（上記 の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注　意

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。 ※破損しケガする恐れがあります。	分解禁止
必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具の破損やケガの恐れがあります。	指示
収納棚本体、扉、棚がガタついたまま、あるいは取付けがゆるんだ状態でのご使用はしないでください。 ※物品類の落下、部材の外れによりケガをする恐れがあります。	禁止
施工完了後は、扉の傾き、ガタツキ、蝶番のゆるみがないことを確認してください。またスライド蝶番の調節後は必ず、Aネジが固く締めつけられていることを確認してください。 ※締めつけが不足しますと、蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。	禁止
ストーブやヒーターなど熱を発生するものの近くに置いて使わないでください。 ※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。	指示
直射日光が当たる場所は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。	禁止
酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類、ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して拭かないでください。 ※変色や変形の恐れがあります。 （溶剤がつきますと跡が残ることがあります。）	禁止
木製品のため浴室および湿気の多い場所の設置は避けてください。	禁止
化粧棚や中間棚に物品を過剰にのせたりしないでください。 ※破損や落下によりケガをする恐れがあります。 （棚の許容積載質量は5kg以下）	禁止

株式会社 LIXIL

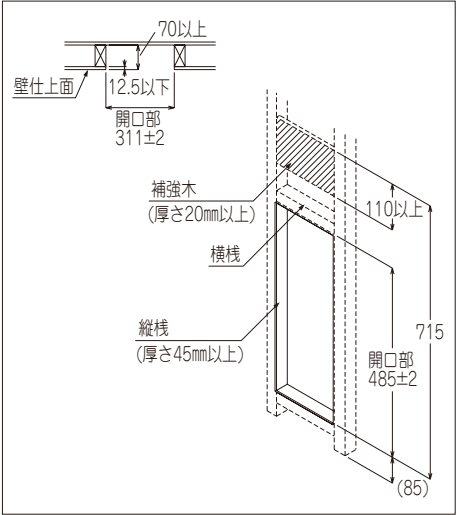
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173
受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日 9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、年末年始、夏期休暇は除く）

●施工前の確認

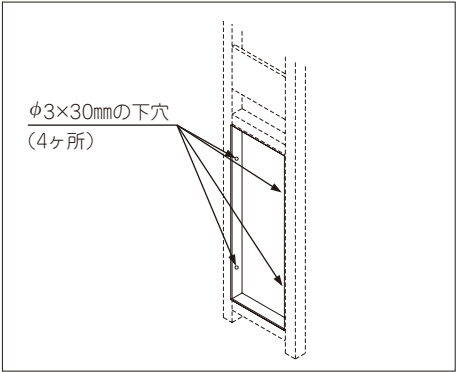
●壁埋込タイプですので、あらかじめ右図の寸法で商品取付けの木ネジ固定用として、厚さ45mm以上の縦・横桟木を設けてください。

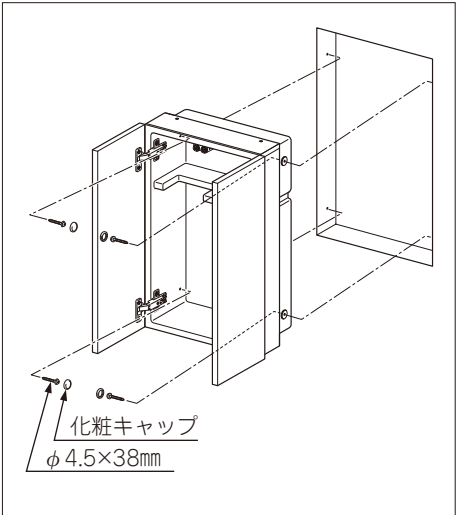
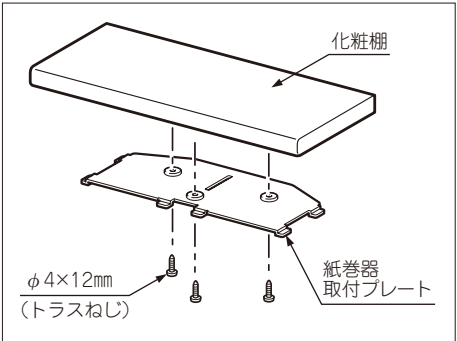
●紙巻器取付のため、ねじ込み深さが20mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。

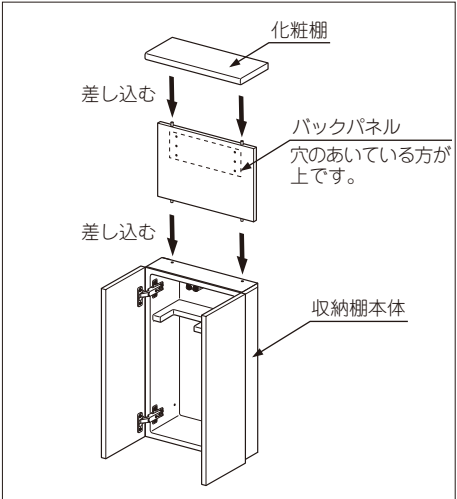
●乾式壁の石膏ボード類の厚さは12.5mm以下にしてください。

●壁下地材および、壁仕上材はキャビネット取付前に仕上げてください。

●施工方法

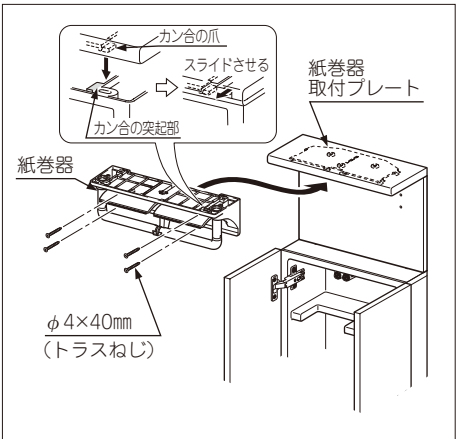
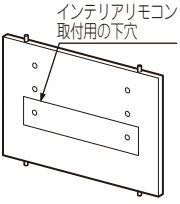
(1)収納棚を壁開口部にはめ込み、開口の左右のスキマが確実に塞がっていることを確認した後、施工ビス位置をけがいて下穴をあけます。

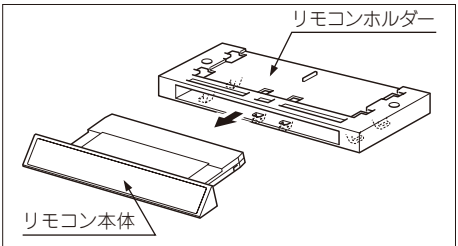
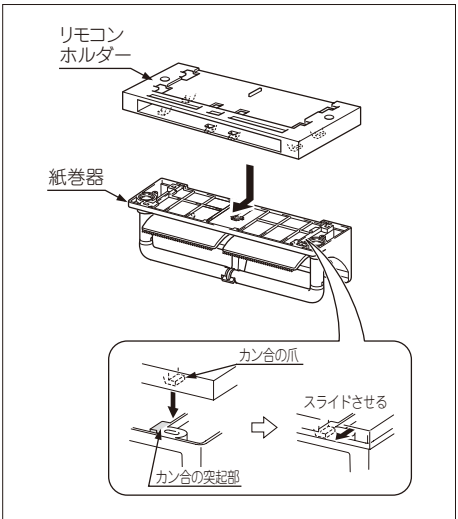
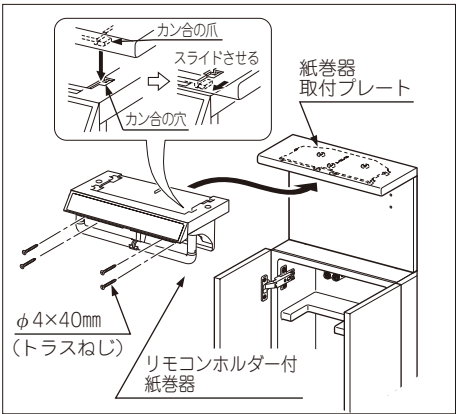
※下穴は必ずあけてください。ネジ固定時にネジ頭をなめる原因になります。

(2)ネジに連結ワッシャーを通してから本体をネジ固定し、化粧キャップを付けます。

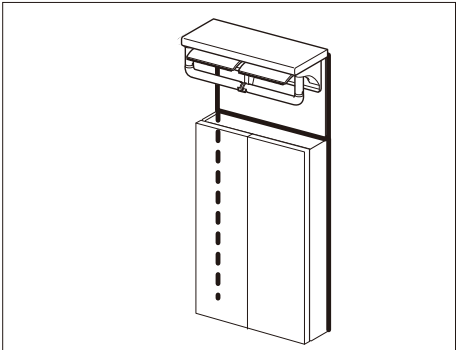
注意 ネジは強く締めつけすぎないようにしてください。本体が変形して扉が動きにくくなったり、ガタツキの原因になります。

(3)化粧棚板の裏に紙巻器取付プレートをネジ固定します。

(4)収納棚本体にバックパネル、化粧棚板を差し込みます。

注意 バックパネルの上下向きを間違えないでください。

〔インテリアリモコンを取り付けない場合〕

(5)紙巻器を取付プレートのカン合の爪にスライドさせて差し込みます。
紙巻器のネジ穴をバックパネルの穴が合っていることを確認してネジ固定します。

注意 紙巻器下のバックパネルの穴(2ヶ所)は、インテリアリモコンを取り付けない場合には使用しません。

〔インテリアリモコンを取り付ける場合〕

(5)-1リモコン本体をリモコンホルダーから外します。

(5)-2カン合の爪を合わせて、紙巻器にリモコンホルダーをスライドさせて取り付けます。

(5)-3リモコンホルダー付紙巻器を取付プレートのカン合の爪にスライドさせて差し込みます。紙巻器のネジ穴とバックパネルの穴が合っていることを確認してネジ固定します。

(6)収納本体と壁との隙間、収納棚本体とバックパネルとの隙間にコーキングを行い隙間を埋めてください。

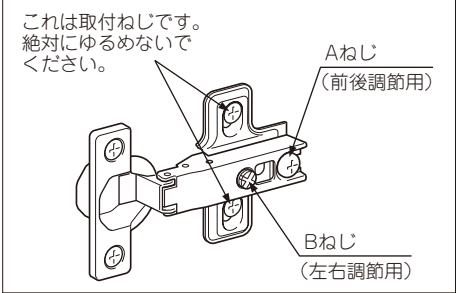
注意 コーキングは壁クロスなどの内装用のものをご使用ください。

●扉の調節

扉は調節済みで出荷していますが、調節が必要な場合に行ってください。

●調節する際は⊕ドライバーをご使用ください。

●Aねじ、Bねじ以外のねじは絶対にゆるめないでください。

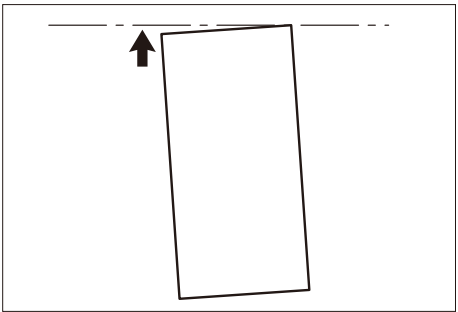
●Bねじを調節すると、Aねじもゆるみます。調節後はAねじが固く締めつけられていることを確認してください。

注意 Aねじを締めすぎないように注意してください。

(1) 扉の先端を上に上げるとき

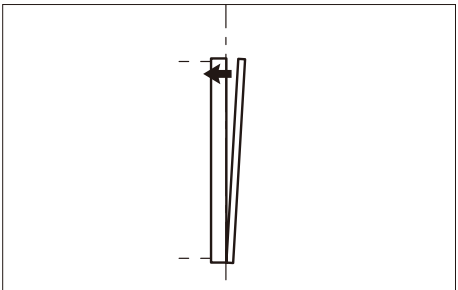
①扉下方の蝶番のBねじを左へ回して調節します。または、扉上方の蝶番のBねじを右へ回して調節します。

②Aねじを締め付けます。

③扉を閉めて確認します。

④正しい位置になるまで①、②を繰り返します。

(2) 扉と側板のすき間が上下違うとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。

②正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。

●施工後の確認

●収納本体や紙巻器の取付けにガタツキがないか確認してください。

●扉の調節を行った場合はスライド蝶番のAねじが確実に締めてあることを確認してください。